

2023 Round.8 MOTEGI

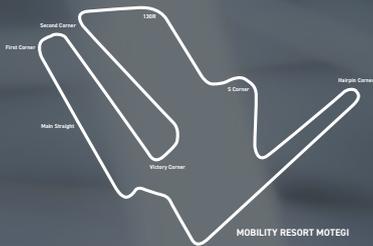
第8戦 モビリティリゾートもてぎ

Mobility Resort MOTEGI (JPN)

November 4 / SAT - 5 / SUN

Yogibo NSX GT3 [GT300 class]

Driver : Yugo Iwasawa / Reimei Ito



上位を狙えるスピードを示すも 最終戦は噛み合わない週末に

公式練習は10番手 走り出しは手ごたえ

4月に開幕した2023年のSUPER GTは、さまざまなドラマを経ていよいよシーズン最終戦を迎えた。今季から参戦を開始したYogibo Racingにとって、第1戦は表彰台周りに迫りながらも、それ以降はトップ争いに加わることができないシーズンを送っていただけに、今シーズンを良いかたちで終えるためにも、最終戦でしっかりとした結果を残しておきたい。舞台となる栃木県のモビリティリゾートもてぎはHonda NSX GT3にとっても得意なコースのひとつでもあり、ドライバーの岩澤優吾にとっても伊東黎明にとっても、ジュニアフォーミュラ時代から慣れ親しんだコース。リタイアに終わった第7戦オートボリスの借りを返すに相応しい舞台だ。

迎えた第8戦の走行初日となった11月4日(土)は、早朝から濃い霧が出ており、コンディションへの影響が心配されたものの、午前9時25分からの公式練習はドライコンディションでスター

ト。Yogibo NSX GT3は伊東からコースインし、二度のピットインを経て17周を走り岩澤に交代する。走行途中からは晴れ間も広がり気温も上昇するなか、岩澤も16周を走行。この公式練習は伊東が記録した1分47秒672がYogibo NSX GT3のベストタイムとなり、10番手という好位置で終えた。

「バランスも大きく変えることもなかったです」と岩澤が語ったとおり感触も悪くなく、午後の公式予選に向けた期待が高まった。

まさかのQ1突破ならず タイヤ選択が仇に

午後2時20分からスタートした公式予選は、秋晴れのもと気温23度/路面温度29度というコンディションで始まった。Yogibo NSX GT3は午後2時38分から始まったQ1のB組に出走。伊東がステアリングを握り、前戦に続くQ2進出を目指した。

ただ伊東は4周目、1分47秒610というタイムを記録するも、公式練習のベストとほとんど変わらないタイムになってしまう。ライバルたちは大きくタイムを伸

Report of Saturday

土曜日公式練習 / 公式予選



ばしており、Yogibo NSX GT3の順位はB組の7番手。Q2進出を逃す結果となってしまった。

「午前の曇りの状態では気温が低かったのですが、そこからQ1突破に向けた方向転換ができなかったです」と伊東はコンディションに合ったタイヤ選択ができなかったことを悔やんだ。同じ車両の#18 NSX GT3がこのQ1で2番手につけていることを考えると、伊東、そしてチームの悔しさはさらに募った。

とはいえ、決勝は追い上げるチャンスもある。Yogibo Racingは翌日の決勝レースに向けて気持ちを切り替えていった。





レーススタート前にまさかのトラブル発生

悔しい結果となった予選から一夜明け、迎えた11月5日(日)のモビリティリゾートもてぎには、朝から非常に多くのファンが詰めかけた。3万人という大観衆が見守るなか、午前11時30分からウォームアップ走行がスタート。Yogibo NSX GT3も岩澤がステアリングを握りコースインしていった。

しかし、6周を走ったところでまさかのトラブルがYogibo NSX GT3を襲った。クラッチにトラブルを抱えてしまったのだ。チームは急いでトラブルを特定し、修復作業に入っていく。その後スタート進行が始まってしまい、Yogibo NSX GT3は最終戦のスターティンググリッドに着くことができなくなってしまった。

チームの迅速な作業もあり、なんとか午後1時からの決勝レースを前に修復が完了した。SUPER GTでは予選で装着したタイヤでレースをスタートしなけ



ればならなかったが、ピットスタートの場合その限りではない。前日の予選ではタイヤ選択も関係しQ1突破を果たせなかったことから、チームはこの機会に硬めのタイヤに交換し、岩澤を送り出した。

GT300クラスの集団の最後尾からスタートした岩澤は、ポツポツと予想外の細かい雨が降り出すなか、上位陣と同等のタイムでラップを重ねていく。もてぎで多くの経験を積んできた岩澤のドライビングとも



噛み合ったYogibo NSX GT3のスピードは本物。7周目には最後尾を脱出すると、17周目までに4ポジションアップを果たした。

その頃には多くの車両がピットストップを行い始めるが、23周目にはそれにもない8番手まで浮上。まずはそこまで追いつけると、25周を終えてピットイン。伊東に交代する。伊東のペースも良好で、レース後半に向けてさらに期待が高まった。

ただYogibo NSX GT3のリヤから異変が起きてい

Report of Sunday

日曜/決勝レース

た。伊東はしばらく症状を確認しつつ走行を続けていたが、30周目、いよいよ真っ直ぐ走らない状況となってしまう、緊急ピットイン。32分以上Yogibo NSX GT3はピットに収まることになってしまった。

車両の面でも得意なコース、さらにドライバーふたりの経験も多く、今回のフィーリングならば間違いなく上位フィニッシュは可能なスピードがあった。チームはトラブルを修復した後、伊東にせめてそのスピードを示してもらおうと、柔らかめのタイヤで再度コースインする提案を行った。ファステストラップのポイントがあるわけではないが、せめてものトライだ。

スピードは示すも 期待の結果には繋がらず

その期待に応え伊東は、36周目に再度コースイン。Yogibo NSX GT3のスピードを示すべく走行を再開した。ただ、その頃もてぎにはふたたび雨が降り出し、ラップタイムは向上せず。レースの最後まで走ったものの、リタイヤ扱いとなってしまった。

ミッドシップレイアウトのYogibo NSX GT3は、このもてぎは車両特性の面で大いに期待できるコースだった。しかし予選Q1でのまさかの敗退、さらに決勝レースでのスタート直前のトラブルと、ことごとく好結果を阻まれるレースウィークとなってしまった。

結果的にYogibo NSX GT3の2023年最高位は、第1戦岡山での4位という結果となった。表彰台獲得はならず、ドライバーの確実な成長はあったものの、その後は思うような結果を残せなかった。

しかし、表彰台を争うポテンシャルがあること、そして優勝を狙える実力があることを最終戦で示すことができた。Yogibo Racingは2024年に向けさらなる飛躍を遂げるべく、しばし雌伏の時を迎える。

— Race Results —

予選 17番手
決勝 リタイヤ

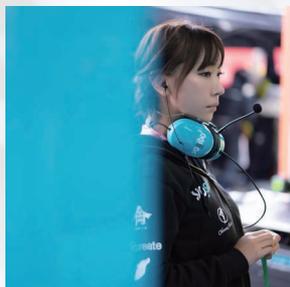
— Rounds Schedule —

See you in 2023 SUPER GT!



Race Comment レースコメント

NEXT Race is
2024 Season



基本的な見直しを
2024年も成長したい

芳賀美里 監督
MISATO HAGA

@misato_SUPERGT

今週は上の順位を狙っていたのですが、決勝レース直前のトラブルでピットスタートになってしまい、その後は良いラップタイムで走っていたものの、戦略をどうするかを考えていたところで、最後はふたたびトラブルに見舞われてしまいました。スピードがあったことは確認することはできましたが、勝負をしていく上でトラブルの防止など、基本的なところを見直していく課題が残りました。今季は開幕前の準備がギリギリになってしまいましたが、チーム結成3年目でエントリーの権利を得られて、その点では大きな仕事ができたとと思います。若いふたりのドライバーと成長できたものの、レースの難しさを感じてきました。しかしチームとしては成長しているのは間違いないので、2024年もっと成長していきたいとと思います。



流れが味方せず
悔しい一年になりました

伊東黎明 選手
REIMEI ITO

@reimei_ito_

予選から流れが僕たちには味方してくれないレースになってしまいました。ピットスタートの利点を活かしてタイヤを替えて岩澤選手がスタートしてからはペースも良さそうでしたし、タイヤの状況も良さそうでした。僕に交代してからも諦めずに頑張ろうと思っていましたが、乗り始めた直後から異音とおかしなフィーリングがあつて。とりえず走れる状況だったのでしばらく走行を続けていましたが、途中から真っ直ぐ走らなくなってしまいました。トラブルを直してもらい、タイムを出すチャンスもらったのですが、その時点で今度は雨になってしまいました。今年はSUPER GT参戦初年度でしたが、実力を出せる機会が少なかったですし、印象的なシーンを作ることができませんでした。ルーキーとしても悔しい一年になってしまいましたね。



スピードを結果として
表したかったです

岩澤優吾 選手
YUGO IWASAWA

@yugoiwasawa

予選ではQ2に進出することができなかったのが何より残念でした。決勝レースでもスタート前にトラブルがあり、ピットスタートとなりましたが、その後はタイヤを替えてトップと同じくらいのペースで走ることができていたので、良い予選順位だったら、すごくチャンスがあるレースだったと思います。クルマのペースも良く、僕のドライビングにもマッチしていました。ただ交代した後もまたトラブルが出てしまって。今週はまったく流れがなかったですね。スピードを結果で表したかったです。今年はルーキーイヤーでシーズン開幕直後はすごく刺激が多かったのですが次第に雰囲気にも慣れていくことができました。しっかり要素がそろえば結果を出せる手ごたえを感じていたので、優勝することができるまで頑張っていきたいとと思います。

Information

Yogibo公式ホームページで
Yogibo Racing公式グッズが買える！

スタイリッシュなロゴとカラーで、問い合わせも多いチーム着用のYogibo Racing公式グッズ。実はサーキットでのYogiboグッズ販売ブースでも購入が可能ですが、Yogibo公式ホームページでも購入が可能になりました。

ホームページで購入可能なのはチームスタッフもサーキットで着用しているTシャツ(2色)、トート

バッグ、マフラータオル、マスク、さらにぜひお部屋に貼りたい2023年バージョンのポスター。

また現地販売ブースでは、ドライバーアピアランス等でもおなじみラウンドロゴ入りのYogibo Maxカバーも購入できるようになりました。

ぜひYogibo Racingグッズでサーキットでのファッションをコーディネートしてください！

